

日本のふるさと。自給自足的循環社会

# 広報 京丹波 12

NO.170 2019.12.17 発行 TOWN KYOTAMBA

## 秋の丹波路を駆け抜ける



- 02 2019京都丹波ロードレース大会
- 04 まちの動き
- 06 病院からのお知らせ
- 08 民生委員・児童委員一斉改選
- 09 いきいき健康術
- 11 生涯学習通信 TOMORROW
- 13 まちの話題
- 16 くるみの会のお手軽レシピ



晩秋の丹波路を駆け抜ける

# 2019 京都丹波 ロードレース大会



11月3日、丹波自然運動公園を発着点とするコースに全国各地から参加した総勢3,550人が、秋の丹波路を駆け抜け、健脚を競いました。

## 参加者の声

女子10キロ65歳、69歳で優勝した  
**田路 慶子さん**  
(京都市)

年々タイムは落ちてきていますが、毎年楽しんで参加しています。顔見知りの方ができ、選手の間で交流を楽しんでいます

男子ハーフマラソン30歳から39歳の部で大会新記録を出し1位でゴールした  
**楠本 正輝さん**  
(兵庫県西宮市)

3回目の参加で初めて優勝できました。アップダウンが激しいですが、脚づくりには最適なコースでした。大会全体をとおしてアットホームな感じで、沿道の誘導看板などランナーにやさしい大会でした。来年もまた参加したいです



## コース沿いに咲くマリーゴールド

本大会では、ランナーに気持ちよく走ってもらおうと、コース沿いにマリーゴールドのプランターを設置しています。



きれいに咲いたマリーゴールド



マリーゴールドが飾られたコースを走るランナー



多くの人でにぎわう「うまいもの市」



丹波路を走るランナーたち

ロードレースはハーフマラソン、10キロ、5キロ、3キロ、3キロファミリーの5種目を年齢別など63部門に分け開催されました。公園管理棟前で行われた開始式では、小峰雅人大会委員長による開始宣言の後、大会会長である太田昇町長が「皆さまには、さわやかな風と自然豊かな晩秋の丹波路を満喫しながら、走る楽しさを実感し、交流の輪も広げていただきたい」と選手を歓迎しました。

コース沿いでは、懸命に走るランナーに地元住民や給水所で待機するボランティアが温かい声援を送っていました。

また、発着点付近では、食の祭典で出展されていた団体などによる食事の提供や地元須知高校の新鮮野菜など、丹波の秋の味覚を味わえる「うまいもの市」が開催され、ランナーや応援に訪れた人たちは、それぞれ丹波の秋を満喫されていました。

10月10日には、竹野小の児童と竹野サロンの利用者など約50人が、マリーゴールドの苗300株を竹野地区の区長らが用意したプランターに二株ずついいに植えました。参加者は「きれいに咲いてくれることを願っています。ランナーには花を見て気持ちよく走ってもらえれば」と苗に思いを込めていました。

今年もコース沿いの区長やボランティア団体などの協力により約2,000株のマリーゴールドが沿道を飾りました。



地域の人とマリーゴールドの苗を植える児童



太田町長、谷副町長と意見交換をする梅原会長と井上副会長



移住や観光のあり方について講演する宗田教授



太田町長から諮問書を受け取る中西会長

## 第2回京丹波町総合計画審議会 人口問題などの課題解決まちの活性化に向けて

10月31日、第2回京丹波町総合計画審議会を役場議場で開催しました。

審議会では、太田昇町長から町総合計画審議会（中西和之会長）

に対して、第2期地方版総合戦略の策定について意見を求めるため、諮問書が手渡されたあと、本審議会のアドバイザーで京都府立大学の宗田好史教授から「各地で進む地方創生—京丹波町の移住と交流はすごい？」と題した講演が行われました。

また、第2期地方版総合戦略では、喫緊の課題である人口減少

などの解決に向けて、「関係人口（地域や地域の人々と多様に関わる人々）」や「SDGs（持続可能な開発目標）」などの新たな視点を加えることを確認したほか、住民の考えを把握するために、18歳以上の住民3000人と町内の中学生を対象に行ったアンケート調査の結果などをもとに、今後の方向性について意見交換を行いました。

アンケートでは、まちの魅力について聞いたところ、住民と中学生で共通して一番目に「自然環境」、2番目に「近所のつきあい、地域活動の活発さ」という結果になりました。

一方、まちに住みつづけたいかの問いでの、まちに住みたくない理由としては住民と中学生で共通して「交通や買い物の不便さ」の割合が最も高く、中学生では、「職業選択

の多様性」の割合が高くなっていました。

中西会長は「現在の人口が第1期で策定した戦略人口（将来の目標人口）に大差なく推移していることに喜んでいるが、今後どのように人口減少の対策をしていくかが重要になってくる。田舎だからできること、自然の豊かさをどう演出していくかなど、もう一度足元をみて考える必要がある」と話しました。

今後、本町の地域特性を生かしたまちづくり（地方創生）の実現を目指し、審議が重ねられます。

※戦略人口  
2040年に10,000人程度  
2060年に8,100人程度を維持。

## 京丹波町ケーブルテレビ事業のあり方に関する審議会が答申

京丹波町ケーブルテレビ事業のあり方に関する審議会（梅原好範会長）が11月8日、審議結果を太田昇町長へ答申しました。

答申内容は、町ケーブルテレビ事業を「民営化へ移行する」ことが妥当であると判断し、自主放送番組を継続しながら、テレビやインターネットのサービスが全町域で提供できる環境を整備することや、インターネットのサービスについては都市部と同様のサービスが受けられるようにすることなど、住民が快適で豊かな暮らしができる情報通信環境を整備することを示した計10項目にわたりました。梅原会長は「委員全員で真剣に議論してきました。現状維持ではなく、今まで以上に込めた思いを託しました。答申を受けた太田町長は「答申いただいた内容を可能な限り実現できるように、これからの施策に反映していきたい」と応えました。

### 答申内容（抜粋）

●自主放送番組の制作及び視聴等については、継続を基本として調整を図ること。

●民営化に伴う「音声告知放送」の廃止は新たな課題である。地域の実情を踏まえつつ、情報伝達に関する万全な対策の維持確保に努めること。

●地上波テレビ放送のサービスについては、現在の利用料から大幅な乖離が生じない費用で視聴できるように調整すること。

●情報通信基盤を利用し、京丹波町の特徴を活かしたICT（情報通信技術）利活用の推進を図ること。



梅原会長から答申書を受け取る太田町長

# 厚生労働省(国)は 国保京丹波町病院を『再編・統合に向けた再 公表しました。

その経緯と 今後の対応についてお知らせします。

国は、令和元年9月26日、全国1,455公立・公的病院のうち、診療実  
あたる424の病院名を公表しました。再検証の期限は、来年9月です

績が特に乏しく、再編や統合の再検証が必要な病院として、約3割に  
が、再編・統合に国の強制力はありません。



## 国の取り組み

国は、団塊の世代全員が75歳以上の後期高齢者になり、医療や介護にかかる費用の急増が見込まれる令和7年(2025年問題の年)を見据え、診療報酬など医療費の抑制に向けた取り組みを進めています。

そこで、都道府県に対し地域医療の将来像、機能分担や連携、過剰とされる病床(ベッド)の削減など、各地で必要とされる医療提供体制を「地域医療構想」として平成28年度末までに策定するよう要請していました。

また、将来に向けて『地域医療構想』・『医師の働き方改革』・『医師の偏在対策』を三位一体で推進し、総合的な医療提供体制の実現を目指しています。

病床には病期<sup>(※)</sup>に応じた4つの機能があります。

(※)病期とは、それぞれの疫病について、その症状の経過を各時期に分類したものを指します。

## 病期に応じた4つの機能(病床機能)

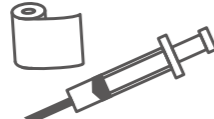
### ① 高度急性期

急性期の患者に対し、診療密度が高い医療を提供する(救命救急病棟、集中治療室など)



### ② 急性期

急性期の患者に対し、医療を提供する(救急受入や一般的な手術など)



### ③ 回復期

急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する(在宅復帰支援)



### ④ 慢性期

長期にわたり療養が必要な患者の入院(重度の障害者など含む)

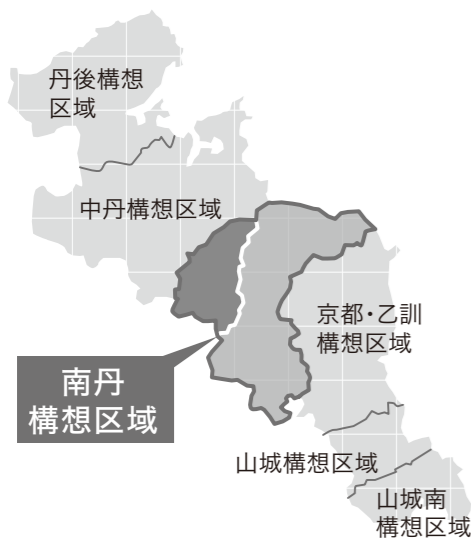


病床機能は、各医療機関が自主的に選択し、国へ報告していますが、その報告では将来必要とされる回復期の不足が見られます。京丹波町病院は、②急性期病院としています。

## 京都府の取り組み

京都府では、限られた医療・介護資源を有効に活用し、必要とされる方それぞれの状態にふさわしい適切な医療・介護を効果的・効率的に提供する体制を構築するために、2025年における、その地域にふさわしいバランスの取れた医療・介護体制構築に向けた指標として、京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)を平成29年3月に策定しました。

この地域包括ケア構想において、南丹構想区域で必要とされる病床数は現状とほぼ同じの1,430床とする一方、今後回復期の需要が見込まれるため、これらの機能の充実を図る計画となっています。



## 分析されたデータ

全国各地で見込まれた病床数と国が推計した病床数に大きな差異が生じたため、国は再度検討を促すため、平成29年6月の診療実績を用いて機械的分析を行いました。

### A 「診療実績が特に少ない」

◎がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣の9領域

### B 「各分析項目について、構想区域以内に一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、所在地が近接している」(高速道路を利用して自動車ですぐ20分以内)

◎がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6領域

京丹波町病院は、この(B)分析に該当しましたが、国はデータの詳細を明らかにしていません。

## 公表後の国からの説明

この公表により、町内はもちろんのこと各自治体や医療機関など国内に動揺と不安、誤解、風評が広がり、国に対して強い抗議の声があがりました。

これを受け令和元年10月29日「地域医療構想に関する自治体等との意見交換会」(近畿会場)において、国から次のように説明がありました。(一部のみ抜粋)

- 今般の分析データを公表したことで、住民の皆さまへの不安などを招いてしまった。
- 唐突な公表で、事前に関係者の方々に十分な説明ができていなかった。
- 今後は、ていねいな取り組みを進めていきたい。
- 今回のデータは、可視化するという観点で、必ずしも地域の実情は踏まえていない。
- 今後、地域の実情を踏まえて議論をお願いしたい。
- 今回のデータは、地域で検討をしていただくことが最大の趣旨である。
- 名前が挙がった病院に何かを強制するといった性質のものではない。この点で、誤った理解が広まり心配を掛けた。今後、正しく趣旨を伝える努力を尽くす。

## 京丹波町病院の役割

京丹波町病院は、救急受入から、在宅、学校医、健診、予防接種、健康教室などかかりつけ医的な役割まで、多種多様な医療を担ってまいりました。

しかしながら、医師不足や医療技術の高度化、患者減少や病床稼働率の低下などの課題はありますが、今春から病床47床のうち10床を地域包括ケア病床に転換するなど、地域の実情に即した対応も始めています。

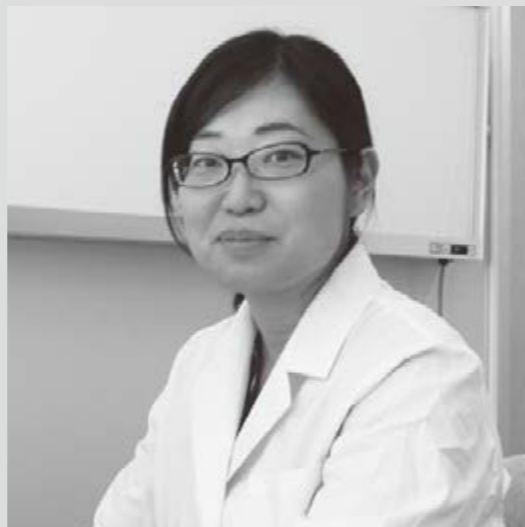
今後も、「南丹医療圏地域医療構想調整会議」において議論されてまいりますが、京丹波町病院の役割について、さらに強く理解を求めていきたいと考えています。

いきいき健康術 第148回

町立病院・診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。

『インフルエンザ流行時期と予防策』

はなたに もとこ 医師 和知診療所（水曜日外来担当）内科  
花谷 望都子



風邪とインフルエンザの違いをご存じですか？

インフルエンザとは一般的な風邪と同様にウイルスによって起こり、風邪症状（のどの痛み、鼻水、咳など）に加えて38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れるのが特徴です。子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を伴うなど、重症になることがあります。ヒトに感染するインフルエンザはA型、B型、C型に分類され、A型とB型は集団発生、流行を繰り返す、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。

なぜとインフルエンザは、ココが違う！

なぜ（普通感冒）	インフルエンザ
1年を通じ散発的に発症 通常は微熱（37～38℃） 上気道症状	冬季に流行 高熱（38℃以上） 全身症状
くしゃみ、喉の痛み 鼻水、鼻づまりなどの症状で緩やかに進行	咳、喉の痛み、鼻水 全身倦怠感、食欲不振 関節痛、筋肉痛、頭痛などの症状で急激に進行

予防はどうしたらいいのでしょうか？

インフルエンザの流行時期は例年11～12月頃に流行が始まり、1～3月にピークを迎えます。インフルエンザを予防するためには今からできる3つのポイントを実践してください。

1 予防接種

インフルエンザの予防には、インフルエンザワクチンの接種が有効です。ワクチンの接種により、インフルエンザの重症化や死亡を予防し、健康被害を最小限にすることが期待されています。予防接種後2週間程度から効果を発揮します。流行前の10月～12月中旬頃までには接種をお願いします。

2 感染経路を断つ

病原体を含む唾液やたんが、咳やくしゃみにより飛沫となって空中に飛び、これを吸引することにより感染します。つまり、外出後には手洗い、うがい、マスク着用を行い、体内にウイルスを入れないことが大切です。流行時期には不要な人混みへの外出は控えましょう。

3 環境調整

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

インフルエンザに感染してからは、身体を休めてあげる他に有効な治療法はありません。感染する前に対策をお願いします。

民生委員・児童委員  
主任児童委員を一斉改選

京丹波町民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選が12月1日付けで行われ、12月2日に中央公民館で退任式および委嘱辞令伝達式を行いました。日ごろの生活や子育てに関する悩みや困りごとなどがあれば気軽に相談してください。

民生委員・児童委員 ～住民の「見守り役」「身近な相談相手」「専門機関へのつなぎ役」～

新任				退任	
丹波地区		瑞穂地区		和知地区	
笹尾・中畑・辻村	小林 啓子	中台	高木真里子 庄林 幸子	中山 升谷	松下 浩明 藤井 薫
中村・鎌倉・下村	東 清子	橋爪 和田	山内美智子 折竹 禮子	市場 大倉	山口 則子 木上 香
西階・水戸	村田 美雪	井脇	梅垣ひとみ	篠原	中尾たつ子
新水戸	徳岡 妙子	大朴	友金 一文	大迫	桐野 正則
須知・市森	谷口 富夫	井尻	上原 一子	長瀬・塩谷	堀 智行
	山内 和代	長谷	大嶋 正作	上乙見・下乙見	片山 京子
	川田このみ	八田・小野	阪内 敏明		
上野	樹山 明美	坂井・水原	由良賀代子	西河内	今海 正昭
蒲生	岡本 英子	上大久保	伴田 勝	下粟野	川邊 哲
蒲生野	石田 美恵	下大久保	畠中 弘子	細谷	吉田 学
	梶本 正徳	鎌谷下・東又	田村 康文	上粟野・仏主	藤田やえの
曾根・院内・幸野・森	森 長夫	鎌谷中	西野 未好	本庄	春田 貢
		鎌谷奥	奥井 圭子		菅井 絢子
塩田谷・安井	村山 眞弓	保井谷・粟野	橋本 秀樹	坂原	谷 茂代
富田	山本 陽子 田中 博	妙楽寺・三ノ宮	西山 雅子	中	野間 茂子
				角	片山 幸男
豊田	小林 薫 松村きよ子	水呑	上田 道男	広瀬	樋口 由実
上豊田	谷口 知子 田中與志子	質志・戸津川	東 貞子	才原	太田世都子
		猪鼻	坂本 恵子	大簾	片山 博憲
実勢	北村 和夫	行佛・中村	三好 定子	広野	片山 勝紀
みのりが丘	谷口 通代	庄ノ路・和田・上野	上林 茂治	出野・稲次	下村 幸男
下山（駅前・黒瀬）	前村加代子	白屋・老ノ路・空路	室 貴代美	安栖里	片山 茂雄
				小畑	堀川 勝久
下山（尾長野・藤・新田）	谷口美津子	中野・北久保	北村 猛		
下山（知野辺・白土）	田淵 敬治				
グリーンハイツ					
1～8班	小畑 薫				
9～15・24班	川合 正裕				
16～23班	鳥井 定				

主任児童委員 ～子どもや子育て家庭への支援を専門に～	
新任	退任
藤田 勇生／田中 英美	谷久美子／大槻澄子
寺谷すま子／中尾 純子	
藤田 道子／森 久恒	出野 悦子

※民生委員・児童委員は民生委員法により厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。



京丹波町スポーツ少年団団員交流会が10月25日、蒲生野中学校で開催され、スポーツ少年団に所属する小学生や指導者、保護者など約100人が参加しました。

前回のスポーツ少年団リーダー研修会に引き続き、講師にNSCA認定パーソナルトレーナーの山口裕之さんを招き、運動パフォーマンスの向上やけがの防止を目的としたスポーツリズムトレーニングについて体験を通して学びました。リーダーの子どもたちは、各グループをリードし、まとめ役として積極的に活動していました。各団の子どもたちも、最初は緊張した表情でしたが、徐々にリズムに乗って体を動かすことを楽しんでいました。また、指導者や保護者も一緒に活動し、笑顔あふれる交流会となりました。

**仲間とともに  
体を動かす  
楽しさを味わった  
スポーツ少年団  
団員交流会**

**第14回 京丹波町ゲートボール大会**



第14回京丹波町ゲートボール大会が10月27日、旧須知小学校グラウンドで開催されました。町内から10チーム57人が参加し、京丹波町スポーツ協会の一井公子会長の開会あいさつのもと、A、Bゾーンに分かれ、熱戦が繰り広げられました。大会結果は、Aゾーン1位が実勢Aチーム、Bゾーン1位が蒲生チームでした。

**お茶の間**

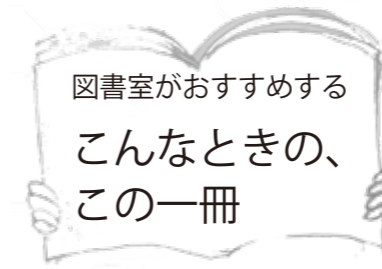
**「こんにちは赤ちゃん」  
コーナー  
申し込み募集**

〈対象者〉

町内在住で、申し込み時に生後1歳未満のお子さま〈申込方法〉お子さまの顔写真に申込書を添えて、役場または支所まで、持参・郵送・メールのいずれかで届けてください。申込書は役場本庁、支所、瑞穂保健福祉センターにあります。

【問】

京丹波町企画財政課  
電話 0771-82-3801  
Eメール  
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



図書室がおすすめする  
**こんなときの、  
この一冊**

寒さ増してきました12月、ほっこり、  
暖かい本の紹介です。

矢部さんが文中で「大家さんと僕が  
出会う前も、僕はしあわせでした。で  
も大家さんと出会って、僕はしあわせ

になりました」と述べられている言葉は、私にはとても大事なことに  
思えます。

本作品では、人と人の繋がり大切さを思い知らされます。

余談ではありますが、矢部さんのルーツであるお父さん、やべみつ  
のりさんの絵本や紙芝居の作品にも出会ってみたいと思いました。

**「大家さんと僕」  
「大家さんと僕と僕」  
「大家さんと僕これから」  
三部作品** 矢部太郎・著／新潮社



なかによろこ  
(質美公民館 (質美振興センター) 図書室：中西陽子)

**図書室のご案内**

開室日	開室日	日	月	火	水	木	金	土
中央公民館図書室 電話 0771-82-0988				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時
桧山公民館(山村開発センター)図書室 電話 0771-88-0506			14時～17時		14時～17時	14時～17時	14時～17時	第2、第4土 13時～17時
梅田公民館(旧梅田保育所)図書室				第1、第3火 9時～13時				第1、第3土 9時～13時
三ノ宮公民館(三ノ宮基幹集落センター)図書室				第2、第4火 13時～17時				第2、第4土 13時～17時
質美公民館(質美振興センター)図書室				第2、第4火 13時30分～ 17時30分				第2、第4土 13時～17時
和知公民館(和知ふれあいセンター)図書室 電話 0771-84-2081				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時

貸出期間 2週間 貸出冊数 1人1回5冊まで

**集い楽し文化祭**  
 京丹波町文化祭2019  
 京丹波町文化協会と町教育委員会主催の京丹波町文化祭が11月9日から11日まで開催されました。期間中、和知ふれあいセンターと隣接するうぐいすの館で展示の部が開催され、作り手の想いのこもった手芸や書、写真などが展示されたほか、友好町福島県双葉町の皆さんの作品や京丹波美術工芸展に出展された、町内の園児や小中学生の感性あふれる作品も展示され、一目見ようと訪れる人でにぎわいました。

10日には、和知ふれあいセンターで舞台の部が行なわれ、17団体が歌や琴の演奏、演舞など、日ごろから取り組んできた文化活動の成果を発表しました。開会セレモニーでは、地元の和知小学校人形浄瑠璃クラブが浄瑠璃人形を巧みに操り、来場者を魅了していました。



舞台の部で発表をする民謡みやび会

# 京都サンガF.C. 京丹波町応援デー

京丹波町応援デーが10月19日、たけびスタジアム京都(京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場)で開催されました。本町は、2017年から京都サンガF.C.のホームタウンとなり、町民の皆さんが一丸となってサンガを応援しようと「京丹波町応援デー」を開催しています。8月には、ホームタウン10市町による合同応援デーも開催されました。今回の「京丹波町応援デー」では、試合観戦の招待や選手と手をつないでピッチに入場するエスコートキッズ、京丹波町食のキャラクター味夢くんとともに本町の特産品の販売など、さまざまな企画のもと、盛大に開催されました。



©KYOTO.P.S.

また、開会のセレモニーとして、太田昇町長がキックインを行い、試合がスタートしました。白熱した試合は、京丹波町民の思いが伝わり、対戦チームの横浜FCを3-0で快勝し、会場は盛り上がりました。



会話を楽しむ住民ら

## 心もお腹も大満足

上 和知中部村まつり

**仕事の厳しさを学ぶ**  
 瑞穂中職場体験  
 瑞穂中学校2年生が10月28日から30日の3日間、町内の事業所の職場体験学習を行いました。みずほ保育所では4人の生徒が保育士の指導のもと、園児に絵本を読み聞かせたり、給食と一緒に食べたりするなど園児と関わりながら普段の仕事を経験しました。

職場体験をした高橋嵐さんは「子どもたちと関わるのは楽しいけど、思い通りに動いてくれないので大変だった。体験してみても保育士の大変



園児に絵本の読みきかせをする中学生

さが分かった」と仕事の厳しさを学びました。

上和知中部村おこし委員会が主催する「上和知中部村まつり」が11月4日、旧和知第二小学校の芝生広場で開催されました。

会場では、同会を組織する6集落の住民や有志グループなどが模擬店を出し、石窯ピザや焼き芋、豚汁などを販売。来場者は食事とともに、会話を楽しんでいました。

また、ゴム長靴の投げた距離や50mのタイムなどを競う競技も行われ、盛り上がりを見せていました。



## いきいき大学第5講座「健康アカデミー」

京丹波町いきいき大学第5講座「健康アカデミー」が11月1日、山村開発センターみずほで開催され、18人が参加しました。健康アカデミーは、運動を通じて健康であることの楽しさ、素晴らしさを実感するとともに、生涯、健康に過ごせる社会づくりを推進するため、60歳以上を対象に開催されている、ストレッチや軽い運動が主の健康教室です。

講師に京都サンガF.C.の福中善久さんを招き、参加者はさまざまなストレッチや運動を楽しみました。参加者は、全身を使ったじゃんけんや人間知恵の輪、サッカーボールを使ったストレッチ、パスをした相手覚えて、同じ相手にパスを出すなど、頭と体を使って表現したり、コミュニケーションを楽しんだりしました。会場には参加者の大きな声が響き、すてきな笑顔がたくさん見受けられました。

## 地域資源を再発見

地域資源を体験

和知地区の地域資源を活用し、今後の体験事業のあり方を模索するフィールドワークが10月30日、わち山野草の森で行われました。

フィールドワークでは、同志社女子大学の環境計画学研究室の齊藤朱美准教授と3年生11人が、苔玉作りや森林セラピー、クロモジ茶作りなどを体験しました。

同研究室は、昨年瑞穂地区で、そば打ちや農作物の収穫体験などを通して、学生主体で体験プログラムを作成しています。

地域問題に関する研究を専門とする齊藤さんは「京丹波町内に魅力はいっぱいあるが、生かされていなのが残念。今回の研究結果をフィールドバックして、まちの活性化につながれば」と話しました。



森林浴をする学生ら

### まちの「今と未来」を知る

浦生野中地域学習

京丹波町の「今と未来」を考える地域学習が10月24日、3年生を対象に浦生野中学校で行われました。この学習は、まちの魅力を再認識して今後の展望を理解し、郷土愛につなげることを目的に行われています。授業では町企画財政課の職員を講師に招き、人口の減少や町の施策など今の京丹波町の現状について学びました。生徒らは、まちの魅力(強み)について「食や自然、特産品が多いこと」と話し、課題(弱み)については「交通手段が少ないこと」と自分たちの考えを発表しました。また、11月14日には起業による地域活性化や子育て施策などについて授業が行われ、生徒らは自分たちの住んでいる町を知ろうと講師の話に耳を傾けていました。



町の現状について説明する町職員

### 起業への一歩踏み出す

京丹波町起業セミナー

地域産業を担う人材の育成や定着を目的に本町と町創業支援ネットワークが主催する京丹波町起業セミナーが、町商工会の商工会館で行われました。セミナーは10月19日から週1回、計5回の講座が開催され、修了者には起業に際して補助金が交付されるなど、さまざまな支援が受けられることとなっています。セミナーでは、町内で起業をめざす受講生13人が、起業に必要な財務



身体障害者福祉大会の様子

や販路開拓、人材育成などの経営の基礎知識やノウハウを学び、最終となる第5回講座で、それぞれの成果としてビジネスプランを発表しました。11月9日の第4回講座では、講師に中小企業診断士の榎本裕次(えのもとゆうじ)さんを迎え、クラウドファンディングを活用した資金調達とデジタルマーケティングについて講義を受けました。コミュニケーションがインターネット上にシフトしていると話す榎本さんは「オンラインで印象付けることが大切。クラウドファンディングはプロモーション



デジタルマーケティングについて説明する榎本さん

### 障害者の社会参加と自立をめざして

第14回京丹波町身体障害者福祉大会

の第14回京丹波町身体障害者福祉大会が11月14日、山村開発センターみずほで開催されました。大会は、すべての人にとって住みやすい社会の実現に向けて、広く障害者についての理解と関心を深め、障害者の社会参加の推進と自立意欲を高めるため、同会が毎年開催しています。大会では、オープニングセレモニー

■自立更生／岩崎 浩之(須知) 大西 辰江(質美)

のみずほ保育所の4歳児と5歳児が元気な歌声で大会に花を添えたあと、自立更生者の表彰と災害時における障害者救済対策の確立など6

### 来場者を魅了

第20回DONと来い／丹波八坂音打祭 丹波八坂太鼓保存会による「第20回DONと来い／丹波八坂音打祭」が10月27日、下山小学校体育館で行われました。

今年、「丹波八坂公演」から名称を変更して行われた「丹波八坂音打祭」では、保存会が江戸時代から病退散や五穀豊穰を願って打ち続けられてきた伝統曲や創作曲などを披露し、来場者を魅了していました。

また、地域の伝統を受け継ごうと保存会に太鼓を習う下山小学校6年生も堂々と太鼓を打ち鳴らしオープンニングを飾りました。



中道さんの指導で竹太鼓を打つ園児ら

### 地域とともに20年

丹波ひかり小創立20周年

丹波ひかり小学校で11月2日、創立20周年記念式典が行われ、児童や地域住民ら約300人が小学校の節目を祝いました。

同小は平成12年4月に旧須知小と旧高原小が統合して開校しました。

式典では、菰本好央校長が「皆さまの応援や支えがあり、地域とともに歩んできた。地域の光ともいえる子どもたちがいきいきと光り輝く学校づくりに尽力したい」とあいさつしました。太田町長らの来賓祝辞のあと、地域支援員として同小に貢献されたみのり会の若松孝子さんと山内和代

### 伝統芸能を楽しく学ぶ

太鼓で遊ぼう

伝統芸能の和知太鼓を体験する太鼓遊びが10月23日、わちエンジェルで行われ、4歳と5歳の園児が楽しく竹太鼓を打ち鳴らしました。現在、和知地区の小中学校では、クラブ活動や選択授業などで和知太鼓を学習しています。

この遊びは、和知太鼓保存会の協力でまちの伝統芸能である和知太鼓に触れる機会を増やし、身近に感じ

さんに対する表彰が行われました。

また、運動会や授業の様子など創立からの歩みをスクリーンに映して観賞しました。児童たちは自分や友達に映し出されると歓声をあげ、地域住民は思い出を語り合い、懐かしみました。



創立からの歴史を写真で振り返る

### 訂正とお詫び

13ページ 誤 クロイ電気株式会社京丹波工場 正 クロイ電機株式会社京丹波工場  
15ページ 誤 南本尚司(みなみもとしようじ) 正 南本尚司(みなみもとひさし)

### ふるさと応援寄付金のお礼\*敬称略

片山 山治	10万円
山内 巖	5万円
出野 伸二	1万5千円
柿沼 成明	1万円
仲間 勝男	1万円
岸本 英之	1万円
伊藤 友彰	1万円

\*掲載内容は寄付者の了解を得ています

### わたしたちの町

人口 13,953(-25)  
男 6,635(-18)  
女 7,318(-7)  
世帯数 6,280(-12)  
12月1日現在 / ( )は前月比

観客の前で太鼓を打ち鳴らす丹波八坂太鼓保存会



に開催している京都八坂神社御田祭で獅子舞の演舞をしている「祇園獅子舞」をゲストに迎え、一対の獅子が勇壮な舞を披露しました。



# かぶまんじゅうの あんかけ汁



食生活改善推進員は「私たちの健康はわたしたちの手で」をスローガンに、食生活を通して健康づくりに取り組んでいます。  
(掲載月6・9・12・3月)

## 適塩(減塩)ポイント

- ☆だしを濃い目にとると調味料を減らすことができ、減塩に繋がります。
- ☆ゆずの香りでおいしさが引き立ちます。

## 1人分の 栄養価

- ・熱量106kcal ・たんぱく質5.6g ・脂質0.3g ・カルシウム61mg
- ・食物繊維2.9g ・塩分1.4g
- ☆かぶや春菊にはカルシウムや食物繊維が豊富に含まれています。

## 【材料(2人分)】

かぶ …… 150g	片栗粉 …… 大さじ1
長芋 …… 50g	塩 …… 少々
むきエビ …… 50g	酒 …… 小さじ1/2
はたけしめじ …… 30g	酢 …… 小さじ1/2
春菊 …… 60g (約2茎分)	ゆず(皮) …… 適量
卵白 …… 1個分	

## 「A」お吸い物汁

だし汁 …… 300cc
清酒 …… 大さじ1
塩 …… 小さじ1/4
薄口しょうゆ …… 小さじ1/2
水溶き片栗粉 (片栗粉 小さじ2+水 小さじ2)

## おいしく作るコツ

- ◎ラップに少量の油をひくことで取り出す時、はがれやすいです。
- ◎蒸し器で調理する場合は、約10分蒸してください。

## 【作り方】

- 1 かぶは皮を厚めにむきすりおろし、軽く押えて水気をきる。
- 2 山芋は皮をむいてしばらく酢水につけ、アクを取ってからすりおろし、①のかぶと混ぜる。
- 3 むきエビは背ワタをとり、塩少々を加えてよく洗って水気をきり、酒を振る。2尾以外は粗く刻む。
- 4 春菊は軽く茹で水気をしっかり絞り3cmにそろえて切っておく。
- 5 ②に卵白、塩、片栗粉を加えよく混ぜる。
- 6 ラップの内側にごく少量のサラダ油をひき、そのまま器に敷き、エビをのせ⑤を入れ、刻んだエビ、その上にまた⑤を順番に入れ、絞って輪ゴムで止めたものを2つ作りレンジ(600W)で約3分あたためる。
- 7 「A」としめじを全て鍋に入れ、中火で加熱し味を整え、水溶き片栗粉でとろみをつけ火を止める。
- 8 お椀に⑥のラップをはずして盛り、春菊とゆずの皮をのせ、⑦を注ぐ。